

アヌシー国際アニメーション映画祭2026「Work In Progress」に 劇場アニメ『KILLTUBE』制作陣が登壇！現地にて最新映像を公開



CHOCOLATE Inc.（本社：東京都渋谷区、代表取締役：渡辺裕介）は、フランス・アヌシーにて2026年6月21日から27日に開催された第50回アヌシー国際アニメーション映画祭において、オリジナル劇場アニメ『KILLTUBE（キルチューブ）』（監督：栗林和明／2026年完成予定）のWork in Progress（WIP）トークセッションを現地時間6月26日に実施しました。

「Work in Progress」は映画祭の中でコンペティションと並んで高い注目を集める部門で、世界中から選ばれた制作進行中のアニメーション作品について制作者自らが制作過程や最新映像を紹介するセッションです。栗林和明監督をはじめ、本作でコンセプトアートディレクターを務める澤井富士彦氏、脚本の竹林亮、プロデューサーの藤村香耶音の4名がアヌシー現地に赴き、世界中のアニメーション業界関係者・クリエイターを前にプレゼンテーションを行いました。

セッションには約300名が参加し、本作の実験的な制作手法やアート開発についての活発なQAセッションが行われました。躍動感溢れる3DCGを用いたアクションシーンや、最新の本編を含む映像を公開すると、大きな歓声が巻き起こりました。

日本を皮切りに、フランスや北米での展開を見据える本作は、2027年以降の世界公開に向けて着実に制作が進行している近況を報告。終了後には観客からKILLTUBEコールが送られ、サインや握手を求める長蛇の列ができ、盛況のうちにイベントの幕を閉じました。



■ 初公開の制作中本編カット

主人公達が作中の渋谷下層エリアを歩くカットのほか、壮大な決闘を思わせる最新カットも一部公開



■ セッション内容

セッション冒頭では登壇者4人によるフランス語での挨拶からスタートし、会場は温かな空気に包まれました。

監督の栗林和明はパイロット映像の上映を交えながら作品を紹介。本作は単なる映画製作にとどまらず、オリジナル作品を生み出すための「実験の場」であり、ここまでに行われた膨大な試行錯誤のプロセスを公開しながら制作を進めているというプロジェクトに込めた想いを語りました。

コンセプトアートディレクターの澤井氏からは「江戸パンク」のビジュアル開発プロセスを解説。既存の表現に捉われない、浮世絵や提灯の色調をベースにした独自の世界観を構築するまでの制作の裏側を紹介しました。実際に作品の世界観を公開しながら解説したシーンでは会場から歓声が上がリ、本作のビジュアルクリエイティブへの関心度の高さが伺えます。

脚本の竹林亮からは、実写映画の共同脚本チーム3名に加えて全く異なるジャンルの20名以上のクリエイターが参加する、実験的な制作体制を紹介。本作で独自に取り組んだ「ストーリーの骨格」の設計から、他作品にない大人数でのプロジェクトを進行する難しさまで、ユーモアを交えながら語りました。



■ 登壇者プロフィール・コメント



企画・監督：栗林 和明（CHOCOLATE Inc.）

CHOCOLATE Inc. CCO / クリエイティブディレクター。

JAAAクリエイターオブザイヤー最年少メダリスト。カンヌライオンズ、スパイクスアジア、メディア芸術祭、ACCなど、国内外のアワードで、60以上の受賞。様々なエンターテインメントの知恵を越境・融合させ、新しいつくり方を実践している。

<登壇後コメント>

人生で初めてのWork in progress、初めてお披露目する制作過程ばかりでしたが、想像を超える熱狂を浴びさせていただき、本当に勇気をもらいました。見たことがない世界にダイブしてもらうために、最後の最後まで怒涛のアイデアと創意工夫を詰め込みまくっています。ぜひ楽しみにしてください。



コンセプトアートディレクター：澤井富士彦（WACHAJACK Inc.）

コンセプトアート専門スタジオ・WACHAJACK Inc.代表。WACHAJACKのメンバーとして、スクウェア・エニックスの『FINAL FANTASY VII REMAKE』および『FINAL FANTASY VII REBIRTH』のコンセプトアート制作に携わった。『KILLTUBE』ではビジュアル開発を主導し、新版画の影響を受けたCGとビビッドなストリートカルチャーを融合させた、作品独自の「江戸パンク」美学を確立している。

<登壇後コメント>

「STUDIO DOTOU」の一員として、世界一熱い遊び場『KILLTUBE』をヴィジュアル面から一緒に創り上げ、「江戸パンク」という世界観をアヌシーの皆様へ届けられたこと、そして現地で温かく迎えていただいた瞬間は、クリエイター冥利に尽きる最高の時間でした！全員の狂気とアイデアをコンセプトアートに凝縮し、最高で最狂に面白い世界観になったと確信していますので、ぜひ世界中で一緒に楽しんでほしいです！



脚本：竹林亮（CHOCOLATE Inc.）

ドキュメンタリー映画の監督から長編作品に進出し、監督・共同脚本を手がけた『MONDAYS／このタイムループ、上司に気づかせないと終わらない』

（2022）は口コミで45都市に拡大上映。2023年ヴェヴェイ国際コメディ映画祭グランプリ、第32回日本映画批評家大賞新人監督賞・編集賞受賞。フランスでも劇場・テレビ公開（仏題：Comme un lundi）。最新監督作『見えない娘 THE INVISIBLES』は今年BIFANにて上映が決定している。

<登壇後コメント>

アヌシーに集まった方々の熱量が素晴らしくて、皆さんの前でお話できて本当に刺激的でした。ストーリーチームとしては、ただただ最後の追い込みに声援を送ることしかできない段階ですが、またここにきて皆さんに完成を観てもらうことを想像するだけで胸が弾みます！



プロデューサー：藤村香耶音（CHOCOLATE Inc.）

CHOCOLATE Inc.プロデューサー。映画の製作・宣伝を中心に幅広く担当。過去作に『キリエのうた』（2023／宣伝プロデューサー）、『MONDAYS／このタイムループ、上司に気づかせないと終わらない』（2022／宣伝）、短編アニメ『パンの赤ちゃん』（2024／プロデューサー）など。本作では製作全体の統括を通じて、全世界での劇場公開に向けて精力的に活動している。

<登壇後コメント>

”生まれた時から身分が決まっている”KILLTUBEの世界で、本作の主人公たちは社会の底辺から運命を切り拓いていきます。本作監督の栗林、そして竹林、澤井をはじめとした制作陣は、まさに彼らのように、この作品の先に新たな景色を見ようとしている人たちです。今回、アヌシーでいただいた熱い声援が今でも夢のようです！皆様にお届けできる日まで、どうかご期待ください。

■ アヌシー国際アニメーション映画祭2026 開催概要

開催期間：2026年6月21日～6月27日

開催地：フランス・アヌシー

公式サイト：<https://www.annecyfestival.com/>

ANNÉCY
FESTIVAL

アヌシー国際アニメーション映画祭は、1960年にカンヌ国際映画祭のアニメーション部門が独立して設立された、世界最大級かつ最も権威あるアニメーション映画祭の一つです。その中でも「Work in Progress (WIP)」では、これまでに数多くの注目作が完成前にこのセッションで発表されています。2025年度は、世界100カ国から3,900本以上（各部門合計）におよぶ映像作品のエントリーがあったことが公表されています。

劇場アニメ『KILLTUBE』について

『KILLTUBE』の舞台は、とある理由で現代江戸時代が続いている日本。身分制度が厳しい社会で、身分を唯一変える方法が「決闘配信」のみという閉ざされた環境で、最下層の3人組が大衆の嘲笑をはねのけ、頂点に挑むバトルエンターテインメントです。



■ 作品あらすじ

現代まで江戸時代が続いた日本。

海を閉ざす壁の中には、巨大な高層都市がひしめきあっていたー。

人々は平和な社会のために、レベル1から7までに分けられた身分によって、住まい・職業・食までも厳重に管理されていた。

生まれ持った身分を替える、唯一の方法。

それは、国営の決闘配信プラットフォーム「KILLTUBE」で勝ち抜くこと。

夢のため、自由のため、民衆は血で塗られたステージへと身を投じていく。

そこに現れたのが、犬に育てられた型破りな少年ムサシ。

詐欺師のキクチヨ、発明家のレオの3人で、江戸の頂点を目指して社会の底辺から「KILLTUBE」に参戦することになる。

型破りな方法で勝ち上がっていく3人は将軍イエヤスの目に止まることになるが、同時にこの社会の不気味な歪みに直面することになるー。

果たして、ムサシたちは、この世で自由を手にすることができるのかー？

■ 基本情報

制作：STUDIO DOTOU

タイトル：KILLTUBE（キルチューブ）

企画・監督：栗林和明（CHOCOLATE Inc.）

企画製作：CHOCOLATE/KILLTUBE

上映時間：90分（予定）

劇場アニメ『KILLTUBE』公式サイト：<https://killtu.be/>

公式YouTube：<https://www.youtube.com/@KILLTUBEJP>

公式X：<https://x.com/KILLTUBEJP>

公式Instagram：<https://www.instagram.com/killtubejp/>

お問い合わせ先：info@killtube.jp



CHOCOLATE Inc.について

CHOCOLATE Inc.は、様々なかたちのエンターテインメントを生み出し、たのしみな未来をつくり出していく会社です。映画やアニメ・キャラクター、展覧会・広告など、世の中の「たのしみなもの」を増やす事業を幅広く展開しています。

公式サイト：<https://www.chocolate-inc.com/>

※本作品に関連した素材をご使用の際は以下のコピーライトの表記をお願いいたします。

©CHOCOLATE/KILLTUBE